請願番号	請願第6号	件名	国に核兵器禁止条約の批准を求める意見書提出の請願
受理年月日	令和6年 8月22日	請願代表者 住所・氏名	各務原市蘇原大島町7-159 各務原平和委員会 代表 横山 裕子 ほか1人
付託委員会	総務 常任委員会	紹介議員	永冶明子、波多野こうめ

(請願趣旨)

79年前、広島・長崎に投下された核兵器は、それ以降戦争でいちども使われたことがありません。その意味するところは、核兵器の使用は人類の破滅を招く絶対悪という認識が世界各国の指導者たちに共有されているところにあります。

2017年、国連において核兵器を全面禁止する「核兵器禁止条約」が122カ国の賛成で可決され、2021年1月22日に発効しました。現在93カ国が署名し、70カ国が批准しています。しかし、この条約に反対する国は、核抑止論に固執しています。この「核抑止」論は核兵器を使う、つまり破滅的状况も生まれるということを前提にした政策であります。ロシアのプーチン大統領は、核兵器による威嚇を行っています。また、パレスチナのガザ地域でジェノサイドを行なっているイスラエルは、閣僚がガザへの核兵器使用を「選択肢」と発言しました。これらは、核兵器の使用・威嚇を禁じた核兵器禁止条約に明確に違反するものです。

核兵器のない世界を強く望む国内外の広範な世論に応えるため、核兵器の非人道性を知る唯一の戦争被爆国日本が一日も早く核兵器禁止条約を批准して核廃絶実現の先頭に立つことを求めるものです。

(請願項目)

1. 日本政府が核兵器禁止条約に署名し、国会で批准することを求める意見書を国会及び政府に提出すること